

RouteHopper

VS1400 シリーズ

リファレンスマニュアル

- Version 1.2 -

はじめに

このたびは RouteHopper をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は、RouteHopper VS1400 シリーズ(VS1408/VS1412/VS1416/VS1424)でご利用いただけるコマンドについて説明しています。

本書で使用される表記について

本書では、下記の表記法に従って、RouteHopper VS1400 シリーズのコマンド説明を行っています。

- {}

省略する事のできない引数を示します。(括弧そのものは入力しない)
("set" で始まる設定コマンドには引数を省略できないと表記されている場合でも引数無しで実行する事で設定状態を表示する事が出来るコマンドもあります。)

例) set default-gateway {IP_ADDRESS}

表記上は引数の IP アドレスのは省略する事はできませんが、引数無しで実行する事で設定状態を表示する事が出来ます。

- []

省略可能な引数、またはコマンド内の要素を示します。(括弧そのものは入力しない)

例) set name-servers {HOST1} [HOST2]

ネームサーバを 2 つまで指定することが出来る事を表します。2 個目の引数は省略出来ます。

- |

いくつかの選択肢がある引数を示します。その中から 1 つを選んで入力します。

例) set http-mode {http|https}

WEB インターフェースのモードを切り替えるコマンドです。引数は"http"か"https"を指定出来る事を示します。

- **イタリック体(斜体)で表記された引数**

指定したい文字列や数字に置き換えて入力する引数を表します。一方、イタリック体でない引数は、記述された引数のいずれかを選択して文字通りタイプします。

例) set sysname {NAME}

引数としては、設定するホスト名を指定します"NAME"という文字列を入力するわけではありません。

はじめに	I
本書で使用される表記について.....	I
1. システム管理コマンド.....	1
?, HELP	1
SET SYSNAME { <i>NAME</i> }	1
SET NO SYSNAME.....	1
ENABLE.....	2
DISABLE.....	2
DOWNLOAD { <i>URL</i> XMODEM [9600 38400]}	3
UPGRADE	3
RELOAD.....	4
WRITE MEMORY	4
WRITE ERASE.....	4
SET PASSWORD	5
SET ENABLE-PASSWORD.....	5
SHOW VERSION.....	6
SET HTTP-MODE {HTTP HTTPS}.....	7
SET DATE [<i>YYYYMMDDHHMM</i>]	8
SET NTP-SERVER { <i>HOST</i> }.....	8
SET NO NTP-SERVER	8
SHOW DATE	8
SHOW RUNNING-CONFIG	9
SHOW CONFIGURATION	9
SHOW TECH-SUPPORT	10
SET SYSLOG-SERVER { <i>HOST</i> }	11
SET NO SYSLOG-SERVER.....	11
INIT SYSLOG	11
SHOW SYSLOG [<i>LINE</i>]	11
SET CONSOLE-LOG-LEVEL.....	12
{ALERT CRIT ERR WARN NOTICE INFO}	12
SET NO CONSOLE-LOG-LEVEL.....	12
2. ネットワーク関連コマンド	13
SET DHCP	13
SET NO DHCP.....	13
SET ADDRESS { <i>IP_ADDRESS</i> } { <i>NET_MASK</i> }	13
SET DEFAULT-GATEWAY { <i>IP_ADDRESS</i> }	14
SET NO DEFAULT-GATEWAY.....	14
SHOW ADDRESS	14
SET FLOW-CONTROL E1 [ASYMMETRIC SYMMETRIC].....	15
SET NO FLOW-CONTROL E1.....	15
SET HTTP-PORT { <i>PORT_NO</i> }.....	16
SET NO HTTP-PORT	16
SET HTTPS-PORT { <i>PORT_NO</i> }.....	16
SET NO HTTPS-PORT.....	16
SET IGMP-SNOOPING.....	17
SET NO IGMP-SNOOPING.....	17

SET TELNET-PORT { <i>PORT_NO</i> }	17
SET NO TELNET-PORT	17
INIT TCPIP	18
SHOW ETHER-PORT	18
SET ACCESS-LIST { <i>IP_ADDRESS</i> }/[<i>MASK_BIT</i>]	19
SET NO ACCESS-LIST { <i>IP_ADDRESS</i> }	19
SHOW ACCESS-LIST	19
SET NAME-SERVERS { <i>HOST1</i> } [<i>HOST2</i>]	20
SET NO NAME-SERVERS	20
SHOW NAME-SERVERS	20
SET SNMP-COMMUNITY { <i>COMMUNITY</i> }	21
SET NO SNMP-COMMUNITY	21
SET SNMP-CONTACT { <i>TEXT</i> }	21
SET NO SNMP-CONTACT	21
SET SNMP-LOCATION { <i>TEXT</i> }	22
SET NO SNMP-LOCATION	22
SET SNMP-TRAP { <i>HOST</i> }	22
SET NO SNMP-TRAP	22
SET QOS	23
SET NO QOS	23
SET PACKET-PRIORITY { <i>PORT</i> [- <i>PORT</i>] DEFAULT} { <i>PRIORITY</i> }	23
SET NO PACKET-PRIORITY { <i>PORT</i> [- <i>PORT</i>]}	23
SET QUEUE-BANDWIDTH { <i>VDSL</i> <i>E1</i> } { <i>PRI02_BANDWIDTH%</i> } { <i>PRI01_BANDWIDTH%</i> } { <i>PRI00_BANDWIDTH%</i> }	24
3. VDSL ポート管理コマンド	26
INIT VDSL-PORT {ALL <i>PORT_NO</i> }	26
SET VDSL-PORT { <i>PORT_NO</i> ALL} {ON OFF}	26
SHOW VDSL-PORT [<i>PORT_NO</i>] [EFM PHY STATUS STP]	27
SHOW VDSL-STATISTICS	28
SET TRAFFIC-ALARM {ALL <i>PORT_NO</i> } {INPUT OUTPUT} {ALARM_ON_TRAFFIC(Kbps)} {ALARM_OFF_TRAFFIC(Kbps)} [INTERVAL(HOUR)]	29
SET NO TRAFFIC-ALARM {ALL <i>PORT_NO</i> } [INPUT OUTPUT]	29
SHOW TRAFFIC	29
SET PROFILE { <i>PROFILE_NO</i> }	30
SHOW PROFILE [<i>PROFILE_NO</i>]	31
SET STP-PROFILE { <i>PROFILE_NO</i> }	32
SHOW STP-PROFILE [<i>PROFILE_NO</i>]	33
SET VDSL-PORT-PROFILE { <i>PORT_NO</i> } { <i>PROFILE_NO</i> }	34
SET VDSL-PORT-STP { <i>PORT_NO</i> } { <i>PROFILE_NO</i> }	34
TEST VDSL-PORT {ALL <i>PORT_NO</i> } {1M 10M 100M 1G}	34
SET MAC-AGING-TIME { <i>TIME</i> }	35
SET MAC-ADDRESS { <i>PORT</i> } { <i>MAC_ADDR</i> }	35
SET NO MAC-ADDRESS { <i>MAC_ADDR</i> }	35
SET MAC-LIMIT {ALL <i>PORT</i> } { <i>LIMIT</i> }	36
SET NO MAC-LIMIT {ALL <i>PORT</i> }	36
SHOW MAC-ADDRESS [<i>PORT</i>]	36
4. VLAN 管理コマンド	37

SET VLAN { <i>VLAN_ID</i> } { <i>VLAN_NAME</i> } { <i>PORT_NO</i> E1 M}[<i>PORT_NO</i> E1 M].....	37
SET NO VLAN	37
SHOW VLAN	37
SET PVID { <i>PORT_NO</i> E1 M} { <i>VLAN_ID</i> }.....	38
SHOW PVID.....	38
SET VLAN-FILTER {ALL <i>PORT_NO</i> E1}.....	39
SET NO VLAN-FILTER {ALL <i>PORT_NO</i> E1}.....	39
SET VLAN-TAG {ALL <i>PORT_NO</i> E1}	39
SET NO VLAN-TAG {ALL <i>PORT_NO</i> E1}	39
5. モデム関連コマンド	40
SHOW MODEM-STATUS [<i>PORT_NO</i>]	40
6. ツール.....	41
PING { <i>HOST</i> }.....	41
情報表示:システム情報ページ.....	42
システム名	42
設置場所	42
連絡先.....	42
シリアル番号	42
ハードウェアバージョン.....	42
ソフトウェアバージョン.....	43
IP アドレス.....	43
MAC アドレス	43
アップタイム.....	43
冷却ファンスステータス	43
情報表示-ログ表示ページ	44
システムログ.....	44
VDSL 設定-ポート情報ページ.....	45
VDSL ポートステータス	45
VDSL 設定-ポート統計情報ページ.....	46
VDSL 統計情報ステータス	46
VDSL 設定-トラフィック情報ページ	47
VDSL トラフィック情報	47
VDSL 設定-ポート設定ページ.....	48
VDSL ポート設定.....	48
VDSL 設定-プロファイル情報ページ	49
プロファイルリスト.....	49
VDSL 設定-MAC アドレス情報ページ	50
MAC アドレスエージングタイム	50
手動設定.....	50
モデム設定-モデム情報ページ	51

モデム - PC間ステータス.....	51
ネットワーク設定-ポート情報情報ページ.....	52
ネットワークポートステータス.....	52
ネットワーク設定-基本設定ページ.....	53
IP アドレスを DHCP で取得.....	53
IP アドレス.....	53
サブネットマスク.....	53
デフォルトゲートウェイ.....	53
設定の即時反映.....	54
ネームサーバアドレス1, 2.....	54
HTTP ポート番号.....	54
HTTPS ポート番号.....	54
TELNET ポート番号.....	54
フローコントロール.....	54
IGMP スヌーピング.....	54
ネットワーク設定-SNMP設定ページ.....	55
Community 名.....	55
Trap 送信先.....	55
ネットワーク設定-SYSLOG 設定ページ.....	56
Syslog 送信先.....	56
ネットワーク設定-アクセス制限設定ページ.....	57
アクセス制限リスト.....	57
ネットワーク設定-QOS 設定ページ.....	58
Qos 設定.....	58
パケット優先度.....	58
帯域幅.....	58
VLAN 設定-VLAN 設定ページ.....	59
VLAN 設定.....	59
VLAN 設定-PVID 設定ページ.....	60
PVID(ポート VLAN ID) 設定.....	60
VLAN 設定-TAG/フィルタ設定ページ.....	61
VLAN TAG/フィルタ設定.....	61
ツール-PING 送信ページ.....	62
Ping 送信先.....	62
システム管理-パスワード設定ページ.....	63
ログインパスワードの設定.....	63
特権パスワードの設定.....	63
システム管理-時刻設定ページ.....	64

<i>NTP</i> サーバ.....	64
時刻.....	64
システム管理-セキュリティページ.....	65
<i>WEB</i> サーバ.....	65
システム管理-設定情報ページ.....	66
現在の設定情報.....	66
システム管理-設定の保存ページ.....	67
設定保存.....	67
システム管理-全設定の初期化ページ.....	68
全設定初期化.....	68
システム管理-再起動ページ.....	69
システムの再起動.....	69
システム管理-ファームウェアの更新ページ.....	70
アップグレードファイル URL.....	70
ダウンロード時間.....	70
詳細情報.....	70
7. OPENSSSL ライセンスについて.....	71
8. 製品に関するサポートのご案内.....	72

1. システム管理コマンド

? , help

オンラインヘルプを表示します。'? 'または'help 'のどちらでも動作は同じです。

```
# help
?
disable
enable
help
init syslog
init vdsl-port {all|PORT_NO}
(略)
```

set sysname {NAME}

set no sysname

特権モードコマンド

システム名称(ホスト名)の設定 / 解除を行います。

引数には設定するシステム名称を半角英数文字列で指定します。文字列長は 125 文字まで設定可能です。

設定されたシステム名称はプロンプトとして表示されます。

```
# set sysname VS1408           システム名称の設定
VS1408# set no sysname       システム名称の設定解除 ('VS1408#' はプロンプト)
#
```

WEB 画面

「情報表示」 「システム情報」

enable

特権モードに移行します。特権モードパスワードが設定されている場合はパスワードの入力プロンプトが表示されます。

特権モードに移行する事で全てのコマンドを使用できるようになります。

プロンプト文字列の最後の文字が ' > ' から ' # ' に変わる事で特権モードである事を表します。

```
> enable
```

```
password:          入力したパスワードは表示されません
```

```
#
```

disable

特権モードコマンド

特権モードから一般モードへ戻ります。

プロンプト文字列の最後の文字が ' # ' から ' > ' に変わります。

```
# disable
```

```
>
```

download {URL | xmodem [9600|38400]}

特権モードコマンド

アップグレードファイルを VS1408 へダウンロードします。

引数指定によりWEBサーバからのダウンロード、xmodemを使用してシリアルコンソールからのダウンロードの2種類の方法を利用する事が出来ます。

WEBサーバからのダウンロードでは引数にURLを'http://'から入力します。

xmodem を使用してのダウンロードでは、第 1 引数に'xmodem'を指定し第 2 引数に通信速度を指定します。通信速度は9600bps('9600'を指定)または38400bps('38400'を指定)を選択する事が出来ます。第 2 引数省略時のデフォルトの速度は9600bpsです。

当コマンドはアップグレードファイルのダウンロードのみを行います。実際にアップグレードを行うには upgrade コマンドを使用します。

当コマンドを引数無しで実行する事で、ダウンロード済みのアップグレードファイルの情報を表示します。

```
# download http://192.168.0.10/VS1408v100.bin
```

```
#
```

WEB 画面

「システム管理」 「ファームウェアの更新」

upgrade

特権モードコマンド

download コマンドによってダウンロード済みのアップグレードファイルから実際にアップグレードを行います。

当コマンド実行後は VS1408 は自動的に再起動されますので保存していない設定は失われます。

```
# upgrade
```

```
Download Time: Tue Jul 05 16:45:43 2005
```

```
Created: Tue Jul 05 10:42:30 2005
```

```
Version: VS1408 1.0.0
```

```
Are you sure to upgrade ? (y/n):
```

WEB 画面

「システム管理」 「ファームウェアの更新」

reload

特権モードコマンド

VS1408 の再起動を行います。
保存していない設定は失われます。

```
# reload
```

```
Configuration changed.      保存していない設定がある場合に表示されます
```

```
Are you sure to reboot ? (y/n):
```

WEB 画面

「システム管理」 「再起動」

write memory

特権モードコマンド

設定の保存を行います。

```
# write memory
```

WEB 画面

「システム管理」 「設定の保存」

write erase

特権モードコマンド

保存されている設定情報の削除を行います。
当コマンド実行後の再起動により VS1408 は工場出荷時の初期状態となります。

```
# write erase
```

```
Are you sure to erase saved configuration ? (y/n):
```

WEB 画面

「システム管理」 「全設定の初期化」

set password

特権モードコマンド

telnet またはコンソールからのログイン時のログインパスワードを設定します。

```
# set password
Enter current password:      旧パスワードを入力 (表示されません)
Enter new password:         新パスワードを入力 (表示されません)
Retype new enable password: 確認用に再度入力 (表示されません)
```

WEB 画面

「システム管理」 「パスワード設定」

set enable-password

特権モードコマンド

特権モードに移行するための特権パスワードを設定します。

```
# set enable-password
Enter current enable password: 旧パスワードを入力 (表示されません)
Enter new enable password:    新パスワードを入力 (表示されません)
Retype new enable password:   確認用に再度入力 (表示されません)
```

WEB 画面

「システム管理」 「パスワード設定」

show version

VS1408 のハードウェアバージョン、ソフトウェアバージョン、MAC アドレス、稼働時間などを表示する。

```
# show version
```

```
RouteHopper VS1408 Version 1.1.0
```

```
Copyright 2006 DUX Inc. All Rights Reserved.
```

```
Copyright 2006 Routrek Networks Inc. All Rights Reserved.
```

```
Serial Number      : XXXXXXXXXXXX
```

```
Hardware Version  : XXXXXXXXXXXX
```

```
Mac Address       : XX:XX:XX:XX:XX:XX
```

```
#### Switch Information ####
```

```
Vendor Id : XXXXXXXX
```

```
Chip Id   : XXXX
```

```
Revision  : XXXXXXXX
```

```
Up 0 days, 03:01
```

set http-mode {http|https}

特権モードコマンド

WEB インターフェースの接続モードの設定を行います。

引数に 'http' を指定した場合は WEB インターフェースへの接続は標準モードになります。'https' を指定した場合は SSL により暗号化されたセキュリティモードになります。セキュリティモードでは URL の指定で先頭に 'https' が必要です。

当コマンドは設定保存後の再起動で有効になります。

```
# set http-mode http
```

```
`write memory' then `reload' to activate the configuration.
```

```
Http mode: http
```

WEB 画面

「システム管理」 「セキュリティ設定」

set date [YYYYMMDDhhmm]

特権モードコマンド

VS1408 のシステムクロックの初期設定を行います。

引数は YYYY = 西暦年、MM = 月、DD = 日、hh = 時、mm = 分。秒の指定は出来ません。設定時には秒は 0 となります。

NTP サーバを設定している場合は 'set date' による日時設定を行っても NTP サーバへの問い合わせの際にサーバの時刻に修正されます。

```
# set date 200507051825
```

```
Tue Jul 05 18:33:00 2005
```

WEB 画面

「システム管理」 「時刻設定」

set ntp-server {HOST}

set no ntp-server

特権モードコマンド

NTP サーバを設定 / 解除します。

当コマンド実行時に NTP サーバへ問い合わせを行い日時を設定します。以降は約 8 時間に 1 回の頻度で NTP サーバへ問い合わせを行い日時を合わせます。

```
# set ntp-server 192.168.0.10
```

NTP サーバを設定

```
Tue Jul 05 18:33:24 2005
```

```
# set no ntp-server
```

NTP サーバの設定を解除

WEB 画面

「システム管理」 「時刻設定」

show date

VS1408 のシステムクロックの時刻を表示します。

```
# show date
```

```
Tue Jul 05 18:33:36 2005
```

WEB 画面

「システム管理」 「時刻設定」

show running-config

特権モードコマンド

VS1408 の現在の設定内容を表示します。

```
# show running-config
! RouteHopper VS1408
! Version 1.0.0

set no sysname
set lang ja-sjis

set password e7mEGhtjiOw=
set enable-password ex9BF8T+m7o=
(略)
```

WEB 画面

「システム管理」 「設定情報」

show configuration

特権モードコマンド

VS1408 の保存されている設定内容を表示します。

```
# show configuration
! RouteHopper VS1408
! Version 1.0.0

set no sysname
set lang en-ascii
set password e7mEGhtjiOw=
set enable-password ex9BF8T+m7o=
(略)
```

show tech-support

特権モードコマンド

テクニカルサポートに必要な各種ログを表示します。

```
# show tech-support
```

```
---- show version ----
```

```
RouteHopper VS1408 Version 1.0.0
```

```
Copyright 2005 DUX Inc. All Rights Reserved.
```

```
Copyright 2005 Routrek Networks Inc. All Rights Reserved.
```

```
Serial Number      :
```

```
Hardware Version  :
```

```
Mac Address       : XX:XX:XX:XX:XX:XX
```

```
#### Switch Information ####
```

```
Vendor Id : 4c4b4d54
```

```
Chip Id   : 261
```

```
(略)
```

set syslog-server {HOST}

set no syslog-server

特権モードコマンド

VS1408 のログを送信する syslog サーバのアドレスを設定 / 解除します。

```
# set syslog-server 192.168.0.10      syslog サーバ設定
# set no syslog-server                syslog サーバの設定解除
```

WEB 画面

「システム管理」 「パスワード設定」

init syslog

特権モードコマンド

VS1408 内部に記録されているログを全て削除します。

show syslog [LINE]

VS1408 内部に記録されているログを新しい順に表示します。引数に数字を指定した場合、指定した行数のログを表示します。

```
# show syslog
Thu Jul 07 13:44:17 info auth: User admin logged in from console
Thu Jul 07 13:39:33 info system: DHCP: Offered address:192.168.0.111
Thu Jul 07 13:39:26 alert system: Bad fan status (FAN1, FAN2)
Thu Jul 07 13:39:20 notice system: Ether1 link up 100M Full
```

WEB 画面

「情報表示」 「ログ表示」

set console-log-level

{alert|crit|err|warn|notice|info}

set no console-log-level

特権モードコマンド

コンソール(シリアルポート)へ出力するログの優先度の閾値を設定 / 解除します。

set console-log-level で閾値を設定した場合、設定値以上の優先度のログは全てコンソールへ出力されます。

set no console-log-level を実行した場合、コンソールへのログの出力はありません。

set console-log-level warn warn レベル以上のログをコンソールへ出力

set no console-log-level コンソールへのログ出力を停止

2. ネットワーク関連コマンド

set dhcp

set no dhcp

特権モードコマンド

DHCP によるアドレスの取得の設定 / 解除をします。

DHCP によりアドレスの取得が成功した場合、'set address'、'set default-gateway'、'set name-servers' のコマンドの設定値よりも優先されます。

当コマンドは設定保存後の再起動かまたは 'init tcpip' コマンドの実行で有効になります。

```
# set dhcp          DHCP によるアドレス取得を行う
                    `write memory' then `reload' to activate the configuration.
# set no dhcp       DHCP によるアドレス取得設定の解除
                    `write memory' then `reload' to activate the configuration.
```

WEB 画面

「ネットワーク設定」 「基本設定」

set address {IP_ADDRESS} {NET_MASK}

特権モードコマンド

イーサネットインタフェースの IP アドレス、ネットマスクの設定をします。

DHCP によるアドレス取得が行われている場合は当コマンドによって設定されたアドレスは使用されません。

当コマンドは設定保存後の再起動かまたは 'init tcpip' コマンドの実行で有効になります。

```
# set address 192.168.0.1 255.255.255.0
                    `write memory' then `reload' to activate the configuration.
```

WEB 画面

「ネットワーク設定」 「基本設定」

set default-gateway {IP_ADDRESS}

set no default-gateway

特権モードコマンド

イーサネットインタフェースのデフォルトゲートウェイを設定します。

DHCP によるアドレス取得が行われている場合は当コマンドで設定されたデフォルトゲートウェイアドレスは使用されません。

当コマンドは設定保存後の再起動かまたは 'init tcpip' コマンドの実行で有効になります。

```
# set default-gateway 192.168.0.1      デフォルトゲートウェイの設定
```

```
`write memory' then `reload' to activate the configuration.
```

```
# set no default-gateway              デフォルトゲートウェイの設定の解除
```

WEB 画面

「ネットワーク設定」 「基本設定」

show address

イーサネットインタフェースの設定情報及び状態の表示をします。

```
# show address
```

```
IP address:192.168.0.10
```

```
Net mask: 255.255.255.0
```

```
DHCP offered address:
```

```
    IP address: 192.168.0.100
```

```
    Net mask: 255.255.255.0
```

```
Default Gateway: 192.168.0.1
```

```
    DNS Server: 192.168.0.20
```

```
    DHCP Server: 192.168.0.20
```

WEB 画面

「ネットワーク設定」 「基本設定」

set flow-control e1 [asymmetric|symmetric]

set no flow-control e1

特権モードコマンド

指定したイーサネットポートのフローコントロール機能(全二重:IEEE802.3x / 半二重:バックプレッシャー)を設定 / 解除します。

第一引数には設定するイーサネットポートを指定しますが、VS1400 シリーズでは"e1"のみ指定可能です。

第二引数にはフローコントロールのモードを指定します。Asymmetric を指定した場合、フローコントロール要求の受信のみ行い、送信は行いません。省略した場合は symmetric が指定された物として扱います。

デフォルトの設定は、フローコントロール ON (symmetric) となります。

set flow-control e1 イーサネットポート 1 のフローコントロールを ON

set no flow-control e1 イーサネットポート 1 のフローコントロールを OFF

WEB 画面

「ネットワーク設定」 「基本設定」

set http-port {*PORT_NO*}

set no http-port

特権モードコマンド

WEB 画面の HTTP モードの待ち受けポート番号を設定します。

引数には設定するポート番号を指定します。設定出来る範囲は 1 ~ 65535 の数字で、他のサービス (https,telnet) で使用している番号及びそのデフォルトの番号は設定できません。

'set no http-port' コマンドを実行するとデフォルトのポート番号である 80 に設定されます。

当コマンドは設定保存後の再起動で有効になります。

```
# set http-port 8000
```

```
`write memory' then `reload' to activate the configuration.
```

WEB 画面

「ネットワーク設定」 「基本設定」

set https-port {*PORT_NO*}

set no https-port

特権モードコマンド

WEB 画面の HTTPS モードの待ち受けポート番号を設定します。

引数には設定するポート番号を指定します。設定出来る範囲は 1 ~ 65535 の数字で、他のサービス (http,telnet) で使用している番号及びそのデフォルトの番号は設定できません。

'set no https-port' コマンドを実行するとデフォルトのポート番号である 443 に設定されます。

当コマンドは設定保存後の再起動で有効になります。

```
# set https-port 7001
```

```
`write memory' then `reload' to activate the configuration.
```

WEB 画面

「ネットワーク設定」 「基本設定」

set igmp-snooping

set no igmp-snooping

特権モードコマンド

IGMP スヌーピング機能を設定/解除します。

なお、本装置は IGMPv1 および v2 をサポートしています。IGMPv3 はサポートしていませんので、IGMPv3 を利用する場合は本機能を OFF にしてください。

また、IGMP スヌーピング機能を ON にした場合、登録可能な VLAN の最大数は 128 個となります。

デフォルトの設定は OFF です。

```
# set igmp-snooping          IGMP スヌーピング機能を ON にする。
```

WEB 画面

「ネットワーク設定」 「基本設定」

set telnet-port {*PORT_NO*}

set no telnet-port

特権モードコマンド

TELNET によるログインの為に待ち受けポート番号を設定します。

引数には設定するポート番号を指定します。設定出来る範囲は 1 ~ 65535 の数字で、他のサービス (http,https) で使用している番号及びそのデフォルトの番号は設定できません。

'set no telnet-port' コマンドを実行するとデフォルトのポート番号である 23 に設定されます。

当コマンドは設定保存後の再起動で有効になります。

```
# set telnet-port 2023
`write memory' then `reload' to activate the configuration.
```

WEB 画面

「ネットワーク設定」 「基本設定」

init tcpip

特権モードコマンド

IP関連の設定を即時反映します。

‘set address’、‘set dhcp’、‘set default-gateway’これらのコマンドはコマンドを実行しただけでは反映されませんが、当コマンドを実行する事で設定を反映させる事が出来ます。

WEB 画面

「ネットワーク設定」 「基本設定」

show ether-port

イーサネットインターフェースの送受信情報を表示します。

WEB 画面

「ネットワーク設定」 「ポート情報」

set access-list {IP_ADDRESS}[/MASK_BIT]

set no access-list {IP_ADDRESS}

特権モードコマンド

接続制限リストへのアドレスの追加 / 削除を行います。

引数には接続を許可するホストアドレスを指定します。マスクビットを指定する事でネットワークアドレスを指定する事も出来ます。

‘set access-list’ コマンドは実行する毎に接続制限リストに指定したアドレスを追加していきます。

‘set no access-list’ コマンドは引数で指定したアドレスを接続制限リストから削除します。この時、ネットワークアドレスであってもマスクビットを指定する必要はありません。

接続制限リストに何も登録されていない場合は全てのアドレスから接続は許可されます。接続制限リストにアドレスが設定された場合は設定されたアドレスからの接続のみ許可されます。

接続制限リストによる制限を受ける接続は WEB インターフェース、telnet 接続、snmp 問い合わせの 3 種類の接続です。

WEB インターフェースは当コマンド実行と同時に接続制限が有効になります。telnet、snmp の接続は、次回の接続時から制限が有効になります。

# set access-list 192.168.0.0/24	ネットワークアドレスを追加
# set access-list 192.168.10.10	ホストアドレスを追加
# set no access-list 192.168.0.0	上記設定のネットワークアドレスを削除

WEB 画面

「ネットワーク設定」 「アクセス制限設定」

show access-list

接続制限リストの設定状態を表示します。

```
# show access-list
192.168.10.10
192.168.0.0/24
```

WEB 画面

「ネットワーク設定」 「アクセス制限設定」

set name-servers {HOST1} [HOST2]

set no name-servers

特権モードコマンド

ネームサーバのアドレスを設定 / 解除します。

'set name-servers' コマンドは引数に指定したアドレスをネームサーバアドレスとして設定します。引数は2個まで指定する事が出来ます。引数を2個指定した場合は第1引数がプライマリネームサーバ、第2引数がセカンダリネームサーバとして認識されます。DHCPによるアドレス取得が行われている場合は当コマンドで設定されたネームサーバは使用されません。

```
# set name-servers 192.168.0.1 192.168.0.2   ネームサーバを設定
```

```
# set no name-servers                       ネームサーバの設定を解除
```

WEB 画面

「ネットワーク設定」 「基本設定」

show name-servers

設定されているネームサーバを表示します。

```
# show name-servers
Name server1: 192.168.0.1
Name server2: 192.168.0.2
```

WEB 画面

「ネットワーク設定」 「基本設定」

set snmp-community {*COMMUNITY*}

set no snmp-community

特権モードコマンド

snmp のコミュニティ名を設定 / 解除します。

コミュニティ名を設定する事で VS1408 への snmp によるアクセスが有効になります。

コミュニティ名は英数半角文字で文字列長 32 文字まで設定可能です。

set snmp-community a12345 コミュニティ名の設定

set no snmp-community コミュニティ名の設定解除

WEB 画面

「ネットワーク設定」 「SNMP 設定」

set snmp-contact {*TEXT*}

set no snmp-contact

特権モードコマンド

管理者の連絡先(メールアドレス等)を設定 / 解除します。

引数には英数半角文字で 127 文字まで指定する事が出来ます。スペースを含む文字列は設定する事はできません。

set snmp-contact aaa@bbb.co.jp

WEB 画面

「情報表示」 「システム情報」

set snmp-location {*TEXT*}

set no snmp-location

特権モードコマンド

当機の設置場所を設定 / 解除します。

引数には英数半角文字でスペースを含めて 127 文字まで指定する事が出来ます。(行末のスペースは無視されます。)

```
# set snmp-location Machine Room of Headquarters
```

WEB 画面

「情報表示」 「システム情報」

set snmp-trap {*HOST*}

set no snmp-trap

特権モードコマンド

snmp トラップを送信する送信先ホストのアドレスを設定 / 解除します。

引数には IP アドレスを指定します。(ホスト名は指定できません)

```
# set snmp-trap 192.168.0.1
```

Trap 送信先の設定

```
# set no snmp-trap
```

Trap 送信先の設定の解除

WEB 画面

「ネットワーク設定」 「SNMP 設定」

set qos

set no qos

特権モードコマンド

QoS 機能を設定 / 解除します。

```
# set qos
```

WEB 画面

「ネットワーク設定」 「QoS 設定」

set packet-priority {port[-port]|default} {*PRIORITY*}

set no packet-priority {port[-port]}

特権モードコマンド

パケットの優先順位を設定 / 解除します。

第一引数には TCP/UDP ポート番号を指定します。'-'に続けてポート番号の範囲指定を行うこともできます。また、"default"を指定することで、デフォルトの優先順位を指定できます(初期値は優先度 0)。

第二引数には優先順位を指定します。0(優先順位低) ~ 3(優先順位高)が指定可能です。

```
# set packet-priority 80 3
```

80 番ポート(HTTP)の優先度を 3 に設定

```
# set no packet-priority 80
```

80 番ポートの優先度設定を解除

WEB 画面

「ネットワーク設定」 「QoS 設定」

```
set queue-bandwidth {vds|e1} {PRIO2_BANDWIDTH%}  
{PRIO1_BANDWIDTH%} {PRIO0_BANDWIDTH%}
```

特権モードコマンド

Set packet-priority コマンドで設定した各優先度毎の帯域幅を設定します。第一引数には出力インターフェースの種類(vdsl/etherポート)を、第二～第四引数には優先度 2～0 に割り当てる帯域幅をパーセントで設定します。なお、各優先度の優先制御は下記のようになります。

VS1408: 優先度 3 と 2、および優先度 1 と 0 の 2 つにまとめられ、SP(Strict Priority)で優先制御

VS1412～VS1424: 優先度 3 は SP(Strict Priority)で、優先度 2～0 は WFQ(Weighted Fair Queuing)で優先制御。

```
# set queue-bandwidth vds1 30 20 10
```

優先度 2,1,0 の帯域幅を 30%,20%,10%に設定

WEB 画面

「ネットワーク設定」 「QoS 設定」

3. VDSL ポート管理コマンド

init vdsl-port {all|PORT_NO}

特権モードコマンド

引数で指定された VDSL ポートを初期化します。

引数に 'all' を指定した場合は全てのポートを初期化します。

(各ポートのモードは初期化によって変化する事はありません)

```
# init vdsl-port 3
```

WEB 画面

「VDSL 設定」 「ポート設定」

set vdsl-port {PORT_NO|all} {on|off}

特権モードコマンド

引数で指定された VDSL ポートのモード (ON / OFF 状態) を設定します。

第 1 引数は設定対象となる VDSL ポート番号を指定します。'all' を指定した場合全ての VDSL ポートが対象となります。

第 2 引数は設定値 'on' または 'off' を指定します。

```
# set vdsl-port all on
```

WEB 画面

「VDSL 設定」 「ポート設定」

show vdsl-port [*PORT_NO*] [efm|phy|status|stp]

VDSL ポートの状態を表示します。

第 1 引数は情報表示する対象 VDSL ポート番号をしていします。省略した場合は、全ポートの状態が一覧表示されます。

第 2 引数は表示したい項目名を指定します。第 2 引数を省略した場合は全ての項目が表示されます。

```
#show vdsl-port
          Down   Up      SNR(dB)      Attn(dB)      TxPower(dB)  Length Modem
Port Mode (Kbps) (Kbps) (D1/D2/U1/U2)(D1/D2/U1/U2) (D1/ D2/ U1/ U2) (m) Ether
-----
  1  On   36855  28350  27/35/34/32  34/24/31/22   0/  5/ -2/  5  1228  100M
  2  On   56700  32400  44/42/43/40  9/14/ 5/25 -14/  3/ -2/  5   200  100M
  3  On   56700  32400  45/43/40/39  9/14/ 3/26 -14/  3/ -2/  5   175  Down
  4  On   56700  29362  44/42/40/34  8/14/11/19 -17/ -7/ -2/  5   157  Down
  5  On   56700  32400  45/42/42/38 10/14/ 6/26 -14/  3/ -2/  5   216  100M
  6  On   51030  32400  44/41/41/35 12/19/12/30 -14/  3/ -2/  5   275  Down
  7  On     0     0  --/--/--/-- --/--/--/-- --/ --/ --/ --    -    -
  8  On     0     0  --/--/--/-- --/--/--/-- --/ --/ --/ --    -    -
  9  On     0     0  --/--/--/-- --/--/--/-- --/ --/ --/ --    -    -
 10  On     0     0  --/--/--/-- --/--/--/-- --/ --/ --/ --    -    -
 11  On     0     0  --/--/--/-- --/--/--/-- --/ --/ --/ --    -    -
 12  On     0     0  --/--/--/-- --/--/--/-- --/ --/ --/ --    -    -
-----
```

```
# show vdsl-port 1 efm
##### Port 1 EFM Statistics #####
```

```
Tx Packet:           0           Rx Packet:           0
Tx Dropped:          0           Rx Dropped:          0
Tx CRC Error:        0           Rx CRC Error:        0
HDLC error:          0
```

WEB 画面

「VDSL 設定」 「ポート情報」 「詳細」

show vdsl-statistics

VDSL ポートの送受信パケット数、エラー数などの統計情報を表示します。

```
# show vdsl-statistics
```

Port	Uptime	TxPkt	RxPkt	TxCRC Err	RxCRC Err	HDLC Err	NearSncLos (1h/1d/1w)	FarSyncLos (1h/1d/1w)	ResOnErr (1h/1d/1w)
1	6d00h	1113945	830568	0	0	23	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0
2	5d10h	4233863	2291687	0	0	0	0/ 0/ 0	5/ 5	0/ 1/ 1
3	6d00h	268414	0	0	0	0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0
4	6d00h	268418	0	0	0	0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0
5	6d00h	372714	59179	0	0	0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0
6	6d00h	268407	0	0	0	0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0
7	Down	0	0	0	0	0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0
8	Down	0	0	0	0	0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0
9	Down	0	0	0	0	0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0
10	Down	0	0	0	0	0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0
11	Down	0	0	0	0	0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0
12	Down	0	0	0	0	0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0	0/ 0/ 0

WEB 画面

「VDSL 設定」 「ポート統計情報」

```
set traffic-alarm {all|PORT_NO} {input|output}
{ALARM_ON_TRAFFIC(Kbps)}
{ALARM_OFF_TRAFFIC(Kbps)} [INTERVAL(hour)]
```

```
set no traffic-alarm {all|PORT_NO} [input|output]
```

特権モードコマンド

VDSL ポート毎にトラフィック警告のしきい値を設定、または設定の解除をします。

第 1 引数にはポート番号を指定します。ポート番号の代わりに"all"を指定すると全ポートに設定されます。

第 2 引数にはトラフィックの方向を指定します。第 3 引数には警告を行うトラフィック量を Kbps の単位で、第 4 引数には警告を解除するトラフィック量を Kbps の単位で指定します。第 5 引数にはトラフィックのチェック間隔を時間単位で指定します (省略時のデフォルトは 1 時間)。警告はシステムログおよび SNMP TRAP で通知されます。

```
# set traffic-alarm all output 20 15
```

VDSL 全ポートに置いて、出力(下り)のトラフィックが 20kbps を超えると警告し、15kbps を下回ると警告を解除するように設定。

WEB 画面

「VDSL 設定」 「トラフィック情報」

show traffic

各 VDSL ポートのトラフィック量を一覧表示します。Set traffic-alarm で設定されている警告のしきい値を超えているポートは、**" 付きで表示されます。

```
# show traffic
```

Port	Inbound traffic rate (kbps)				Outbound traffic rate (kbps)			
	min	10min	hour	day	min	10min	hour	day
1	1	2	4	4	1	5	8	10
2	1	3	2	3	10	24	15	11
3	0	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0	0	0

WEB 画面

「VDSL 設定」 「トラフィック情報」

set profile {PROFILE_NO}

特権モードコマンド

プロファイルの内容を設定します。

引数には設定対象のプロファイル番号を指定します。プロファイル番号には 1~20 の数字を指定する事が出来ます。

当コマンドを実行すると各項目を入力するプロンプトが表示されますのでそれぞれ入力していきます。

設定値を指定せずに ENTER のみを押した場合は表示されているデフォルト値が設定されます。

```
# set profile 15
```

```
Profile Name () :test01
```

```
SNR Margin Calibration [(E)nable|(D)isable] (E) :
```

```
Downstream SNR Margin (3.00 dB) :
```

```
Upstream SNR Margin (3.00 dB) :
```

```
Downstream Target Rate(65535 Kbps) :
```

```
Downstream Minimum Rate(0 Kbps) :
```

```
Upstream Target Rate(65535 Kbps) :
```

```
Upstream Minimum Rate(0 Kbps) :
```

```
Downstream Max Interleave Delay (0.0 ms) :
```

```
Upstream Max Interleave Delay (0.0 ms) :
```

```
Downstream PBO Mode [(E)nable|(D)isable] (D) :
```

show profile [*PROFILE_NO*]

プロファイルの設定内容を表示します。

引数には表示対象のプロファイル番号を指定します。プロファイル番号には 1~20 の数字を指定する事が出来ます。

引数無しで当コマンドを実行した場合は全てのプロファイルの名前を表示します。

```
# show profile 20
```

```
#### VDSL port Profile # 20 ####
```

```
Profile Name                : test20
SNR Margin Calibration      : Enable
Downstream SNR Margin (dB)  : 3.00
Upstream SNR Margin (dB)    : 3.00
Downstream Target Rate (Kbps) : 65535
Downstream Min Rate (Kbps)  : 0
Upstream Target Rate (Kbps) : 65535
Upstream Min Rate (Kbps)    : 0
Downstream Max Interleave Delay (ms) : 0.0
Upstream Max Interleave Delay (ms)  : 0.0
Downstream PBO Mode        : Disable
```

WEB 画面

「VDSL 設定」 「プロファイル情報」 各プロファイル名

set stp-profile {PROFILE_NO}

特権モードコマンド

STP プロファイルの内容を設定します。

引数には設定対象の STP プロファイル番号を指定します。STP プロファイル番号には 1~20 の数字を指定する事が出来ます。

当コマンドを実行すると各項目を入力するプロンプトが表示されますのでそれぞれ入力していきます。

設定値を指定せずに ENTER のみを押した場合は表示されているデフォルト値が設定されます。

```
# set stp-profile 5
```

```
STP Profile Name (39/23_NOTCH1) : 39/23_NOTCH5
```

```
Downstream Band 1 Symbol Rate (2632.50 KHz) :
```

```
Downstream Band 1 Constellation (8 bits/symbol) :
```

```
Downstream Band 1 Center Frequency (2025.00 KHz) :
```

```
Downstream Band 1 PSD Level (-62.00 dbm/Hz) :
```

```
Downstream Band 1 Excess Bandwidth (12 %) :
```

```
Downstream Band 2 Symbol Rate (2835.00 KHz) :
```

```
Downstream Band 2 Constellation (8 bits/symbol) :
```

```
Downstream Band 2 Center Frequency (6851.25 KHz) :
```

```
Downstream Band 2 PSD Level (-60.00 dbm/Hz) :
```

```
Downstream Band 2 Excess Bandwidth (14 %) :
```

```
Upstream Band 1 Symbol Rate (945.00 KHz) :
```

```
Upstream Band 1 Constellation (10 bits/symbol) :
```

```
Upstream Band 1 Center Frequency (4455.00 KHz) :
```

```
Upstream Band 1 PSD Level (-60.00 dbm/Hz) :
```

(略)

show stp-profile [*PROFILE_NO*]

STP プロファイルの設定内容を表示します。

引数には表示対象の STP プロファイル番号を指定します。STP プロファイル番号には 1~20 の数字を指定する事が出来ます。

引数無しで当コマンドを実行した場合は全ての STP プロファイルの名前を表示します。

```
# show stp-profile 5
```

```
#### VDSL port STP Profile # 5 ####
```

```
Name : "39/23_NOTCH5"
```

	Down1	Down2	Up1	Up2
Symbol Rate(kHz)	2632.50	2835.00	945.00	2362.50
Constellation(bits/sym)	8	8	10	7
Center Freq(kHz)	2025.00	6851.25	4455.00	9990.00
PSD Level(dBm/Hz)	-62.00	-60.00	-60.00	-64.00
Excess Bandwidth(%)	12	14	10	10
Interleaver Log2 S/I	0		0	
Interleaver M	0		0	

```
PSD Mask Type : M1
```

```
PSD Deployment Scenario : NA
```

```
RFI Notch: None
```

WEB 画面

「VDSL 設定」 「プロファイル情報」 各 STP プロファイル名

set vdsl-port-profile {*PORT_NO*} {*PROFILE_NO*}

特権モードコマンド

VDSL ポートにプロファイルの値を設定します。

第 1 引数には設定対象の VDSL ポート番号。第 2 引数には設定するプロファイルの番号を指定します。

```
# set vdsl-port-profile 8 20
```

WEB 画面

「VDSL 設定」 「ポート設定」

set vdsl-port-stp {*PORT_NO*} {*PROFILE_NO*}

特権モードコマンド

VDSL ポートに STP プロファイルの値を設定します。

第 1 引数には設定対象の VDSL ポート番号。第 2 引数には設定する STP プロファイルの番号を指定します。

```
# set vdsl-port-stp 8 3
```

WEB 画面

「VDSL 設定」 「ポート設定」

test vdsl-port {*all|PORT_NO*} {*1M|10M|100M|1G*}

特権モードコマンド

モデムに対してループバックテストを行います。

第 1 引数で指定したポートに接続されたモデムに対してテストを行います。'all'を指定した場合は全てのモデムに対してテストを行います。

第 2 引数は送信するデータの大きさを 1M、10M、100M、1G の中から指定します。(単位はバイト)

```
# test vdsl-port 7 100M
```

```
Loopback test completed. Error count (down / up) = 0 / 0
```

本コマンドを実行すると、当該 VDSL ポートのイーサネット接続は、init vdsl-port コマンドを実行するまで切断された状態になります。

set mac-aging-time {*TIME*}

特権モードコマンド

MAC アドレス学習のエイジングタイムを設定します。

引数にはエイジングタイムを1から60の数字で指定します。単位は'分'です。

```
# set mac-aging-time 10
```

当コマンド設定されるエイジングタイムは使用状態などにより誤差を生じます。大まかな目安とお考え下さい。

WEB 画面

「VDSL 設定」 「MAC アドレス情報」

set mac-address {*PORT*} {*MAC_ADDR*}

set no mac-address {*MAC_ADDR*}

特権モードコマンド

指定した MAC アドレスをスタティック MAC アドレスとして登録または削除します

当コマンドにより設定された MAC アドレスを持つ機器は、後述のコマンド'set mac-limit'の制限を受けずに通信する事が可能になります。

'set mac-address'の第 1 引数はポート番号を指定します。第 2 引数には MAC アドレスを 1 バイト毎にコロンで区切り指定します。

'set no mac-address'の引数には削除する MAC アドレスを 1 バイト毎にコロンで区切り指定します。

```
# set mac-address 2 00:11:22:33:44:55
```

```
# set no mac-address 00:11:22:33:44:55
```

WEB 画面

「VDSL 設定」 「MAC アドレス情報」

set mac-limit {all|*PORT*} {*limit*}

set no mac-limit {all|*PORT*}

特権モードコマンド

ポート毎に自動学習される MAC アドレス数の制限または制限の解除をします。

当コマンドで設定される制限数を超える数のネットワーク機器の通信を制限します。

'set mac-limit'の第 1 引数にはポート番号を指定します。ポート番号の変りに"all"を指定すると全ポートに設定されます。

第 2 引数には制限する数を指定します。制限数は 0 から 20 の数を指定する事が出来ます。0 が設定された場合、そのポートとの全ての通信が制限されますが、前述コマンド' set mac-address 'により設定された MAC アドレスを持つ機器は通信を行う事が出来ます。

'set no mac-limit'の引数には制限を解除するポート番号を指定します。ポート番号の変りに"all"を指定すると全ポートの制限を解除します。

```
# set mac-limit 8 5
```

WEB 画面

「VDSL 設定」 「MAC アドレス情報」

show mac-address [*PORT*]

特権モードコマンド

自動学習及び手動設定された MAC アドレスをポート毎に表示します。

引数にはポート番号を指定します。引数を省略した場合は全ポートの MAC アドレス情報を表示します。

```
# show mac-address
```

```
Port7: 00:03:45:00:00:7E
```

```
Port7: 00:03:45:00:04:4F
```

```
Port8:STATIC: 00:03:45:00:00:55
```

WEB 画面

「VDSL 設定」 「MAC アドレス情報」

4. VLAN 管理コマンド

```
set      vlan      {VLAN_ID}      {VLAN_NAME}
          {PORT_NO|e1|m}[,{PORT_NO|e1|m}]...
```

set no vlan

特権モードコマンド

VLAN の設定を行います。

第 1 引数は、設定対象の VLAN ID (2-4095) を指定します。ID 1 の VLAN は変更できません。

第 2 引数は第 1 引数で指定した VLAN に設定する VLAN 名を指定します。

第 3 引数はデータの受信を許可するポートを","で区切って指定します(","の前後には空白は入れないでください)。指定できるポートは数字 (VDSL ポート),"m" (Management: 装置の保守用ポート),"e1" (ETHER ポート) です。

本装置では 255 個の VLAN を登録可能です。ただし、IGMP スヌーピング機能を ON にした場合は、128 個までとなります。

```
# set vlan 20 test1 8,e1
```

WEB 画面

「VLAN 設定」 「VLAN 設定」

show vlan

VLAN の設定状態を表示します。

```
# show vlan
ID VLAN Name          Assigned ports
-----
1 default             1, 1,2,3,4,5,6,7,8,m,e1
2 VLAN_VDSL01        1,e1
3 VLAN_VDSL02        2,e1
4 VLAN_VDSL03        3,e1
:
9 VLAN_VDSL08        8,e1
10 VLAN_MGMT         m,e1
```

WEB 画面

「VLAN 設定」 「VLAN 設定」

set pvid {PORT_NO|e1|m} {VLAN_ID}

特権モードコマンド

PVID(ポート VLAN ID)の設定を行います。

第 1 引数は対象となるポート番号またはポート名を指定します。指定できるポートは数字(VDSL ポート),"m"(Management:装置の保守用ポート),"e1"(ETHER ポート)です。

第 2 引数には第 1 引数で指定したポートに対して適用する VLAN ID を指定します。

対象となるポートで受信されたタグ無しパケットは、本コマンドで設定した ID の VLAN に転送されます。

```
# set pvid e1 1
```

WEB 画面

「VLAN 設定」 「PVID 設定」

show pvid

PVID(ポート VLAN ID)の設定状態の表示を行います。

```
# show pvid

Port                VLAN Id(Name)
-----
1(VDSL 1 )          2(VLAN_VDSL01)
2(VDSL 2 )          3(VLAN_VDSL02)
3(VDSL 3 )          4(VLAN_VDSL03)
4(VDSL 4 )          5(VLAN_VDSL04)
5(VDSL 5 )          6(VLAN_VDSL05)
6(VDSL 6 )          7(VLAN_VDSL06)
7(VDSL 7 )          8(VLAN_VDSL07)
8(VDSL 8 )          9(VLAN_VDSL08)
m(Management)      10(VLAN_MGMT)
e1(Ether 1 )        1(default)
```

WEB 画面

「VLAN 設定」 「PVID 設定」

set vlan-filter {all|*PORT_NO*|e1}

set no vlan-filter {all|*PORT_NO*|e1}

特権モードコマンド

VLAN フィルタの設定/解除を行います。

引数には対象となるポート番号またはポート名を指定します。指定できるポートは数字 (VDSL ポート), "all" (全ポート), "e1" (ETHER ポート) です。

ON に設定すると、そのポートが属さない VLAN ID を持つパケットを受信した場合、そのパケットは破棄されます。

デフォルトの設定は OFF です。

```
# set vlan-filter all
```

WEB 画面

「VLAN 設定」 「Tag/フィルタ設定」

set vlan-tag {all|*PORT_NO*|e1}

set no vlan-tag {all|*PORT_NO*|e1}

特権モードコマンド

VLAN タグ出力の設定/解除を行います。

引数には対象となるポート番号またはポート名を指定します。指定できるポートは数字 (VDSL ポート), "all" (全ポート), "e1" (ETHER ポート) です。

ON に設定すると、そのポートからは VLAN タグ付パケットが送信されます。

デフォルトの設定は OFF です。

```
# set vlan-tag e1
```

WEB 画面

「VLAN 設定」 「Tag/フィルタ設定」

5. モデム関連コマンド

show modem-status [*PORT_NO*]

VDSL ポートに接続されたモデムの状態を表示します。

引数には対象となるモデムが繋がれた VDSL ポートの番号を指定します。

引数を指定しない場合は、全ての VDSL ポートに接続されたモデムの情報を表示します。

```
# show modem-status 7
##### Modem 7 Information #####
```

```
Vendor Id: 4c4b4d54
```

```
Chip Id: 201
```

```
Revision: 4.2.14
```

```
Modem-PC Link Status: Up
```

```
Modem-PC Speed(Mbps): 100
```

```
Modem-PC Duplex Mode: Full
```

```
Downstream(Kbps): 56700
```

```
Upstream(Kbps): 32400
```

WEB 画面

「モデム設定」 「モデム情報」

6. ツール

ping {HOST}

ICMP エコーリクエストパケットを送信し、その応答結果を表示します。
引数には送信先 IP アドレスまたはホスト名を指定します。

```
> ping 164.46.135.72
PING 164.46.135.72 (164.46.135.72)

164.46.135.72 responds. time=40 ms
164.46.135.72 responds. time=30 ms
164.46.135.72 responds. time=30 ms

--- 164.46.135.72 ping statistics ---
3 packets transmitted, 3 packets received, 0% packet loss
```

WEB 画面

「ツール」 「Ping 送信」

情報表示:システム情報ページ

RouteHopper VS1408 RouteHopper [トップページ]

■情報表示
システム情報
ログ表示

■VDSL設定
ポート情報
ポート統計情報
トランスポート情報
ポート設定
プロファイル情報
HAGアドレス情報

■モジュール設定
モジュール情報

■ネットワーク設定
ポート情報
基本設定
SNMP設定

システム情報

システム名	RouteHopper
設置場所	
連絡先	
シリアル番号	12345678
ハードウェアバージョン	VDSL-SW-008
ソフトウェアバージョン	1.2.0EC4
IPアドレス	192.168.10.147(DHCPにより取得)
MACアドレス	00:00:45:00:00:00
アップタイム	0 days, 10:10
冷却ファンステータス	FAN: N3 FAN: N3

設定 リセット

システム名

システム名称(ホスト名)を指定します。

引数には設定するシステム名称を半角英数文字列で指定します。文字列長は125文字まで設定可能です。

コマンドラインインターフェースのシェルコマンドでは' set sysname ' コマンドに相当します。

設置場所

当機の設置場所を指定します。

引数には英数半角文字でスペースを含めて127文字まで指定する事が出来ます。

連絡先

管理者の連絡先(メールアドレス等)を指定します。

引数には英数半角文字で127文字まで指定する事が出来ます。スペースを含む文字列は設定する事はできません。

シリアル番号

当機のシリアル番号を表示します。参照のみで変更は出来ません。

ハードウェアバージョン

当機のハードウェアバージョンを表示します。参照のみで変更は出来ません。

ソフトウェアバージョン

当機のソフトウェアバージョンを表示します。参照のみで変更は出来ません。

IP アドレス

当機の現在の IP アドレスを表示します。参照のみで変更は「ネットワーク基本設定」ページで行う事が出来ます。

MAC アドレス

当機のイーサネットポートの MAC アドレスを表示します。参照のみで変更は出来ません。

アップタイム

起動してから現在までの稼働時間を表示します。

冷却ファンステータス

内部冷却ファンの状態を表示します。

情報表示-ログ表示ページ

The screenshot shows the RouteHopper VS1408 web interface. The top header includes the logo 'RouteHopper VS1408 RouteHopper' and a link '[トップページ]'. The left sidebar contains several menu items under different categories: '情報表示' (Information Display) with 'システム情報' (System Information) and 'ログ表示' (Log Display); 'VDSL設定' (VDSL Settings) with 'ポート情報' (Port Information), 'ポート設定' (Port Settings), 'ポートファイル情報' (Port File Information), and 'MACアドレス情報' (MAC Address Information); 'モデム設定' (Modem Settings) with 'モデム情報' (Modem Information); 'ネットワーク設定' (Network Settings) with 'ポート情報' (Port Information), '基本設定' (Basic Settings), 'SNMP設定' (SNMP Settings), 'Syslog設定' (Syslog Settings), and 'アクセス制限設定' (Access Limit Settings); and 'VLAN設定' (VLAN Settings) with 'VLAN設定' (VLAN Settings).

The main content area is titled 'システムログ' (System Log) and includes a link '最新の情報に更新' (Update to latest information). Below this is a table with the following data:

Date	Priority Facility	Message
Fri Jan 13 17:42:21	notice local0	Port 7, link up. Speed(down/up) = 56700/924000(kbps)
Fri Jan 13 17:42:18	warn local0	Port 7, link down 0(WARN_START_STATE)
Fri Jan 13 17:42:15	notice local0	Port 7, link up. Speed(down/up) = 11940/8100(kbps)
Fri Jan 13 17:42:00	warn local0	Port 7, link down 0(WARN_START_STATE)
Fri Jan 13 17:38:23	notice local0	Port 7, link up. Speed(down/up) = 1350/14850(kbps)
Fri Jan 13 17:38:04	info system	Copyright 2006 DUK Inc. All Rights Reserved. Copyright 2006 Router Networks Inc. All Rights Reserved.
Fri Jan 13 17:38:04	info system	RouteHopper VS1408 Version 1.1.0beta4
Fri Jan 13 17:38:00	alert system	Bad fan status (FAN1, FAN2)
Fri Jan 13 17:37:57	info system	DHCPD: Offered address:192.168.9.210
Fri Jan 13 17:37:55	notice system	Ether1 link up 100M Full

At the bottom of the log table, there is another link '最新の情報に更新' (Update to latest information).

システムログ

内部に記録されているログを新しい順に表示します。

最大件数は 500 件で 500 件を超えると古いログから順に削除されます。(状況により 500 件未満で削除される場合もあります)

VDSL 設定-ポート情報ページ

RouteHopper VS1408 RouteHopper [ヘルプページ](#)

■情報表示
システム情報
ログ表示

■VDSL設定
ポート情報
ポート統計情報
トランスポート情報
ポート設定
プロファイル情報
MACアドレス情報

■モデム設定
モデム情報

■ネットワーク設定
ポート情報
基本設定
SNMP設定

VDSLポート ステータス

Port	Mode	Down (kbps)		Up (kbps)		SNR Margin		Attn (dB)		Tx Power (dBm)		Length (km)	Modem (Other)	詳細表示				
		D1	D2	U1	U2	D1	D2	U1	U2	D1	D2				U1	U2		
1	On	0	0											詳細				
2	On	55700	32400	44	44	42	38	3	2	0	17	-14	0	-2	5	15	100M	詳細
3	On	0	0															詳細
4	On	0	0															詳細
5	On	0	0															詳細
6	On	0	0															詳細
7	On	0	0															詳細
8	On	0	0															詳細

[最新の情報に更新](#)

VDSL ポートステータス

各 VDSL ポートの状態を表示します。

「詳細」をクリックすると、選択したポートの詳細情報を表示します。

VDSL 設定-ポート統計情報ページ

RouteHopper VS1408 RouteHopper [\[トップページ\]](#)

■情報表示
[システム情報](#)
[ログ表示](#)

■VDSL設定
[ポート情報](#)
[ポート統計情報](#)
[トランスミッション情報](#)
[ポート設定](#)
[プロファイル情報](#)
[MACアドレス情報](#)

■モデム設定
[モデム情報](#)

■ネットワーク設定
[ポート情報](#)
[基本設定](#)
[SNMP設定](#)
[Syslog設定](#)
[アクセス制限設定](#)
[QoS設定](#)

■VLAN設定
[VLAN設定](#)

VDSL統計情報 ステータス

	Port	Uptime	Tx Packet	Rx Packet	Tx CRC Error	Rx CRC Error	HDLC Error	Near Sync Loss			Far Sync Loss			Resume On Err		
								1h	1d	1w	1h	1d	1w	1h	1d	1w
<input type="checkbox"/>	1	Down	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	2	15d20m	24902	156	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	3	Down	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	4	Down	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	5	Down	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	6	Down	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	7	Down	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	8	Down	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

チェックしたポートのカウンタを

[最新の情報に更新](#)

VDSL 統計情報ステータス

各 VDSL ポートの接続時間、エラー回数などの統計情報を表示します。

各ポートの統計情報をクリアしたい場合、ポートのチェックボックスにチェックを入れ「クリア」ボタンを押します。

VDSL 設定 - トラフィック情報ページ

RouteHopper VS1408 RouteHopper [\[トップページ\]](#)

■情報表示
システム情報
ログ表示

■VDSL設定
ポート情報
ポート統計情報
トラフィック情報
ポート設定
プロファイル情報
MAGアドレス情報

■モジュール設定
モジュール情報

■ネットワーク設定
ポート情報
基本設定

VDSLトラフィック情報

Port	Inbound traffic rate (kbps)				Alert level (kbps/hour)	Outbound traffic rate (kbps)				Alert level (kbps/hour)	設定
	1min	10min	1hour	1day		1min	10min	1hour	1day		
1	0	0	0	0		0	0	0	0		設定
2	0	0	0	0		0	0	0	0		設定
3	0	0	0	0		0	0	0	0		設定
4	0	0	0	0		0	0	0	0		設定
5	0	0	0	0		0	0	0	0		設定
6	0	0	0	0		0	0	0	0		設定
7	0	0	0	0		0	0	0	0		設定
8	0	0	0	0		0	0	0	0		設定

[最新の情報に更新](#)

VDSL トラフィック情報

各 VDSL ポートの上り・下りのトラフィック情報情報を表示します。警告が発生しているトラフィックは赤で表示されます。

「設定」をクリックすると、トラフィック警告しきい値設定画面が表示されます。

VDSL 設定-ポート設定ページ

RouteHopper VS1408 RouteHopper [ホームページ]

■情報表示
システム情報
ログ表示

■VDSL設定
ポート情報
ポート統計情報
ポートリンク情報
ポート設定
プロファイル情報
MAGアドレス情報

■モジュール設定
モジュール情報

■ネットワーク設定
ポート情報
基本設定
SNMP設定
Syslog設定
アクセス制御設定

VDSLポート設定

	Port	Mode	Down Speed	Up Speed	Profile	STP Profile
<input type="checkbox"/>	1	On	0	0	1 (DEFAULT)	1 (E0/30_NORMAL)
<input type="checkbox"/>	2	On	56700	32400	1 (DEFAULT)	1 (E0/30_NORMAL)
<input type="checkbox"/>	3	On	0	0	1 (DEFAULT)	1 (E0/30_NORMAL)
<input type="checkbox"/>	4	On	0	0	1 (DEFAULT)	1 (E0/30_NORMAL)
<input type="checkbox"/>	5	On	0	0	1 (DEFAULT)	1 (E0/30_NORMAL)
<input type="checkbox"/>	6	On	0	0	1 (DEFAULT)	1 (E0/30_NORMAL)
<input type="checkbox"/>	7	On	0	0	1 (DEFAULT)	1 (E0/30_NORMAL)
<input type="checkbox"/>	8	On	0	0	1 (DEFAULT)	1 (E0/30_NORMAL)

全てチェック

チェックしたポートをリセット 実行

[最新の情報に更新](#)

VDSL ポート設定

VDSL ポートの各種設定を行います。

各ポートのリセット / オン / オフを行うには、コマンドを画面下のプルダウンメニューから選択し、そのコマンドを実行したいポートのチェックボックスにチェックを入れ「実行」ボタンを押します。

Profile、STP Profile の項目はそれぞれの項目のプルダウンメニューでそのポートに設定する Profile、STP Profile を選択し、「実行」ボタンを押すことで反映されます。

VDSL 設定-プロフィール情報ページ

RouteHopper VS1408 RouteHopper [トップページ]

- 情報表示
 - [システム情報](#)
 - [ログ表示](#)
- VDSL 設定
 - [ポート情報](#)
 - [ポート統計情報](#)
 - [トランスポート情報](#)
 - [ポート設定](#)
 - [プロフィール情報](#)
 - [MACアドレス情報](#)
- モデム設定
 - [モデム情報](#)
- ネットワーク設定
 - [ポート情報](#)
 - [基本設定](#)
 - [SNMP設定](#)
 - [Syslog設定](#)
 - [アクセス制御設定](#)
 - [QoS設定](#)
- VLAN設定
 - [VLAN設定](#)
 - [PVLAN設定](#)
 - [Tag/フールク設定](#)
- フィル
 - [Filter情報](#)
- システム管理
 - [パスワード設定](#)
 - [時刻設定](#)

VDSLプロフィールリスト

番号	プロフィール名	番号	プロフィール名
1	DEFAULT	11	
2	INTRV DLY 1ms	12	
3	SNR MARGIN 3dB	13	
4	SNR MARGIN 6dB	14	
5	SNR MARGIN 9dB	15	
6		16	
7		17	
8		18	
9		19	
10		20	

VDSL STPプロフィールリスト

番号	STPプロフィール名	番号	STPプロフィール名
1	50/30 NORMAL1	11	
2	43/26 NORMAL2	12	
3	45/25 ACSL1	13	
4	38/25 ACSL2	14	
5	39/23 NOTCH1	15	
6	33/23 NOTCH2	16	
7	34/23 ACSL NOTCH1	17	
8	27/23 ACSL NOTCH2	18	
9		19	
10		20	

プロフィールリスト

Profile、STP Profile のリストを表示します。
 各プロフィール名のリンクをクリックする事で、その設定値が表示されます。

VDSL 設定-MAC アドレス情報ページ

Port	手動設定	自動学習	自動学習数上限
1	0	0	<input type="checkbox"/> クリア
2	0	0	<input type="checkbox"/> クリア
3	0	0	<input type="checkbox"/> クリア
4	0	0	<input type="checkbox"/> クリア
5	0	0	<input type="checkbox"/> クリア
6	0	0	<input type="checkbox"/> クリア
7	0	0	<input type="checkbox"/> クリア
8	0	0	<input type="checkbox"/> クリア

MAC アドレスエイジングタイム

自動学習される MAC アドレスのエイジングタイムを設定します。単位は'分'で1から60の数字が設定できます。

設定されるエイジングタイムは使用状態などにより誤差を生じます。大まかな目安とお考え下さい。

手動設定

手動設定された MAC アドレス(スタティック MAC アドレス)の設定数がポート毎に表示されます。表示された数字をクリックする事で設定画面が表示されます。

モデム設定－モデム情報ページ

Port	Link	Speed	Duplex	VDSL Down(kbps)	VDSL Up(kbps)
1	NA	NA	NA	0	0
2	NA	NA	NA	0	0
3	NA	NA	NA	0	0
4	NA	NA	NA	0	0
5	NA	NA	NA	0	0
6	NA	NA	NA	0	0
7	Up	100	Full	56700	32400
8	NA	NA	NA	0	0

モデム - P C 間ステータス

モデムとP C間のリンク状態、リンクスピード、および当機とモデム間のリンクスピードを表示します。

ネットワーク設定-ポート情報情報ページ



The screenshot shows the 'RouteHopper VS1408' web interface. The main content area is titled 'ネットワークポート ステータス' (Network Port Status). It contains a table with the following data:

Port	Link	Speed	Duplex	Tx Packet	Tx Byte	Rx Packet	Rx Byte
Ether 1	Up	100	Full	506	351891	381	68908

Below the table, there is a link labeled '最新の情報に更新' (Update to latest information).

On the left side of the interface, there is a navigation menu with the following items:

- 情報表示
- システム情報
- ログ表示
- VDSL設定
- ポート情報
- ポート設定
- プロファイル情報
- MACアドレス情報

ネットワークポートステータス

イーサネットポートのリンク状態、リンクスピード、および送受信データ量を表示します。

ネットワーク設定－基本設定ページ

ネットワーク基本設定	
IPアドレスをDHCPで取得	<input checked="" type="checkbox"/> (DHCPで取得したIPアドレスが下記の設定より優先されます)
IPアドレス	192.168.9.220
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	
設定の即時反映	<input type="checkbox"/> (上記設定を即時反映します)
ネームサーバアドレス1	
ネームサーバアドレス2	
HTTPポート番号	80
HTTPSポート番号	443
TELNETポート番号	23
ブロードコントロール	<input type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON (Asymmetric) <input checked="" type="radio"/> ON (Symmetric)
SNMPスタージング	<input type="checkbox"/>

IP アドレスを DHCP で取得

イーサネットポートの IP アドレスを DHCP サーバから取得します。
(この設定は設定保存後の再起動時に反映されます)

IP アドレス

イーサネットポートの IP アドレスを指定します。「IP アドレスを DHCP で取得」の項目がチェックされている場合は DHCP サーバにより取得したアドレスが優先されます。DHCP サーバからのアドレス取得に失敗した場合はここに設定したアドレスになります。
(この設定は設定保存後の再起動時に反映されます)

サブネットマスク

イーサネットポートの IP アドレスに対するサブネットマスクを指定します。「IP アドレスを DHCP で取得」の項目がチェックされている場合は DHCP サーバにより取得したサブネットマスクが優先されます。
(この設定は設定保存後の再起動時に反映されます)

デフォルトゲートウェイ

デフォルトゲートウェイのアドレスを指定します。「IP アドレスを DHCP で取得」の項目がチェックされている場合は DHCP サーバにより取得したデフォルトゲートウェイのアドレスが優先されます。
(この設定は設定保存後の再起動時に反映されます)

設定の即時反映

「IP アドレスを DHCP で取得」、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の各項目の設定は通常設定保存後の再起動で有効になりますが、この「設定の即時反映」の項目にチェックし「設定」ボタンを押した場合は設定の保存や再起動を行う事無く設定を反映する事が出来ます。

ネームサーバアドレス 1 , 2

ネームサーバアドレスを指定します。2 個まで指定可能です。DHCP でネームサーバアドレスを取得している場合はそのネームサーバが使用されます。

HTTP ポート番号

当機の WEB ページへ HTTP モードで接続する際のポート番号を指定します。
(この設定は設定保存後の再起動で有効になります。)

HTTPS ポート番号

当機の WEB ページへ HTTPS モードで接続する際のポート番号を指定します。
(この設定は設定保存後の再起動で有効になります。)

TELNET ポート番号

当機に TELNET ログインする際のポート番号を指定します。
(この設定は設定保存後の再起動で有効になります。)

フローコントロール

イーサネットポートのフローコントロールを設定/解除します。

IGMP スヌーピング

IGMP スヌーピング機能を設定/解除します。

ネットワーク設定－SNMP設定ページ

RouteHopper VS1408 RouteHopper [\[ホームページ\]](#)

■ 情報表示
[システム情報](#)
[ログ表示](#)
■ VDSL設定
[ポート接続](#)
[ポート設定](#)
[プロファイル接続](#)
[MACアドレス情報](#)

SNMP設定

Community名

Trap送信先

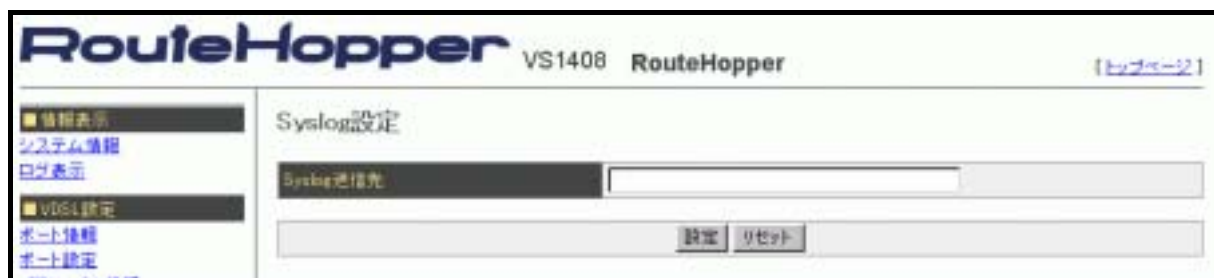
Community 名

snmp によるアクセスを有効にすると同時にコミュニティ名を設定する。アクセスを行う事の出来るホスト「ネットワーク設定」「アクセス制限設定」のページで許可および制限する事が可能。

Trap 送信先

snmp trap を送信する送信先アドレスを設定します。

ネットワーク設定-SYSLOG 設定ページ



Syslog 送信先

当機のログを送信する Syslog サーバのアドレスを設定します。

ネットワーク設定－アクセス制限設定ページ



アクセス制限リスト

当機に接続する事の出来るアドレスを設定します。

マスクビット数を指定する事でネットワークアドレスを設定する事も出来ます。

アクセス制限リストに何も登録されていない場合は全てのアドレスから接続が許可されます。接続制限リストにアドレスが設定された場合は設定されたアドレスからの接続のみ許可されます。

アクセス制限リストによる制限を受ける接続は WEB インターフェース、telnet 接続、snmp 問い合わせの 3 種類の接続です。

WEB インターフェースは設定と同時に接続制限が有効になります。telnet、snmp の接続は、次回の接続時から制限が有効になります。

VLAN 設定-VLAN 設定ページ

RouteHopper VS1408 RouteHopper [トップページ]

■ 情報表示
システム情報
ログ表示

■ VDSL 設定
ポート情報
ポート設定
ボロファイル情報
MAGアドレス情報

■ モデム設定
モデム情報

■ ネットワーク設定
ポート情報
基本設定
SNMP設定
Syslog設定
アクセス制限設定

■ VLAN設定

VLAN設定

新規作成

ID	VLAN名	Port	設定	削除
1	default	1-8, m, e1		
2	VLAN_VDSL01	1, e1	設定	削除
3	VLAN_VDSL02	2, e1	設定	削除
4	VLAN_VDSL03	3, e1	設定	削除
5	VLAN_VDSL04	4, e1	設定	削除
6	VLAN_VDSL05	5, e1	設定	削除
7	VLAN_VDSL06	6, e1	設定	削除
8	VLAN_VDSL07	7, e1	設定	削除
9	VLAN_VDSL08	8, e1	設定	削除
10	VLAN_MGMT	m, e1	設定	削除

VLAN 設定

VLAN の設定状態を表示します。

「新規作成」をクリックする事で新たな VLAN を作成する事が出来ます。また、「設定」をクリックすることで既存の VLAN の内容を変更できます。

Port の項目には、それぞれの VLAN に属するポートの一覧が表示されます。数字は VDSL ポートを表します。'm'はマネジメントポートを表し、当機の WEB、TELNET、SNMP 等のマネジメント用インターフェースの通信ポートです。'e1'はイーサネットポートを表します。

VLAN 設定-PVID 設定ページ

Port	VLAN ID	Port	VLAN ID
1(VDSL 1)	2	2(VDSL 2)	3
3(VDSL 3)	4	4(VDSL 4)	5
5(VDSL 5)	6	6(VDSL 6)	7
7(VDSL 7)	8	8(VDSL 8)	9
m(Management)	10	e1(Ether 1)	1

PVID (ポート VLAN ID) 設定

PVID(ポート VLAN ID)の設定状態を表示します。

各ポートに対して VLAN ID を入力し「設定」ボタンを押すことで、そのポートで受信されたタグ無しパケットが属する VLAN を指定することができます。

VLAN 設定-Tag/フィルタ設定ページ



RouteHopper VS1408 RouteHopper [トップページ]

■ 情報表示
システム情報
ログ表示

■ VDSL 設定
ポート情報
ポート設定
プロファイル情報
MACアドレス情報

■ モデム設定
モデム情報

■ ネットワーク設定
ポート情報

VLAN Tag/フィルタ設定

Port	Tagged	VLAN Filter	Port	Tagged	VLAN Filter
1(VDSL 1)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2(VDSL 2)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3(VDSL 3)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4(VDSL 4)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5(VDSL 5)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6(VDSL 6)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7(VDSL 7)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8(VDSL 8)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
in(Management)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	e1(Ether 1)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

設定 リセット

VLAN TAG/フィルタ設定

各ポートにおける、VLAN TAG の付加の有無、および VLAN フィルタの設定状態を表示します。
各ポートに対して VLAN TAG/フィルタの設定を行い「設定」ボタンを押すことで、そのポートから VLAN タグ付きパケットを送信するかどうか、またポートが属さない VLAN タグの付いたパケットを破棄するかどうかを指定することができます。

ツール-PING 送信ページ



Ping 送信先

当機より他のネットワーク機器に対して Ping を送信し、その結果を表示します。

Ping 送信先には Ping の送信先アドレスを指定します。送信先アドレスは IP アドレスの他にホスト名も指定できます。(DNS サーバが直接入力または DHCP により設定されている必要があります)。

アドレス入力後「Ping 実行」ボタンを押すと Ping 送信結果が表示されます。

システム管理－パスワード設定ページ

RouteHopper VS1408 RouteHopper [トップページ]

■情報表示
システム情報
ログ表示

■VDSL設定
ボート情報
ボート設定
プロファイル情報
MACアドレス情報

■モデム設定
モデム情報

■ネットワーク設定
ボート情報
基本設定
SNMP設定
Syslog設定
アクセス制御設定

■VLAN設定
VLAN設定

ログインパスワードの設定

現在のパスワード

新しいパスワード

新しいパスワード(確認用)

特権パスワードの設定

現在の特権パスワード

新しい特権パスワード

新しい特権パスワード(確認用)

ログインパスワードの設定

TELNET またはシリアルコンソールからログインするためのログインパスワードを設定します。
「現在のパスワード」の欄には現在設定されているログインパスワードを設定します。
(工場出荷時の初期状態ではログインパスワードは設定されていませんので、ここは空欄のままにします。)
「新しいパスワード」の欄には新たに設定する任意のパスワードを入力します。
「新しいパスワード(確認用)」の欄には新たに設定するパスワードをもう一度入力します。
「ログインパスワード設定」ボタンを押すことで新しいパスワードが設定され、次回のログイン時から有効になります。

特権パスワードの設定

当機のコマンドシェル(ログイン後に使用するコマンドラインインターフェース)において、一般モードから特権モードに移行する際のパスワードを設定します。
「現在の特権パスワード」の欄には現在設定されている特権パスワードを設定します。
(工場出荷時の初期状態では特権パスワードは設定されていませんので、ここは空欄のままにします。)
「新しい特権パスワード」の欄には新たに設定する任意のパスワード文字列を入力します。
「新しい特権パスワード(確認用)」の欄には新たに設定するパスワードをもう一度入力します。
「特権パスワード設定」ボタンを押すことで新しいパスワードが設定され、コマンドシェル内での次回の enable コマンド実行時から有効になります。

システム管理－時刻設定ページ

The screenshot shows the '時刻設定' (Time Setting) page in the RouteHopper VS1408 web interface. The page has a sidebar on the left with navigation links under three main categories: '情報表示' (Information Display), 'VDSL設定' (VDSL Settings), and 'モデム設定' (Modem Settings). The main content area is titled '時刻設定' and contains the following elements:

- An 'NTPサーバ' (NTP Server) input field with a placeholder text: 'NTPサーバ指定時は下記の時刻設定は行いません' (When an NTP server is specified, the following time settings are not performed).
- A '時刻' (Time) dropdown menu showing the current date and time: '2006 / 1 / 13 17:48'.
- '設定' (Set) and 'リセット' (Reset) buttons at the bottom of the form.

NTP サーバ

NTP サーバを指定します。

「設定」ボタンを押すとNTPサーバアドレスが設定されると同時に設定されたNTPサーバへ問い合わせを行い日時を設定します。以降は約8時間に1回の頻度でNTPサーバへ問い合わせを行い日時を合わせます。

時刻

日時の設定を行います。

「設定」ボタンを押すと指定した日時がシステム時計に設定されます。
NTPサーバアドレスが設定されている場合は時刻設定は行えません。

システム管理－セキュリティページ



WEB サーバ

WEB インターフェースへの接続方法を設定します。

チェックボックスにチェックをしない場合は暗号化を行わない HTTP モードになります。

チェックボックスにチェックを入れた場合は SSL を使用し暗号化を行います。この場合 WEB 接続の URL の先頭を 'https' にする必要があります。

いずれも「設定」ボタンを押し、設定の保存後の再起動で有効になります。

システム管理－設定情報ページ

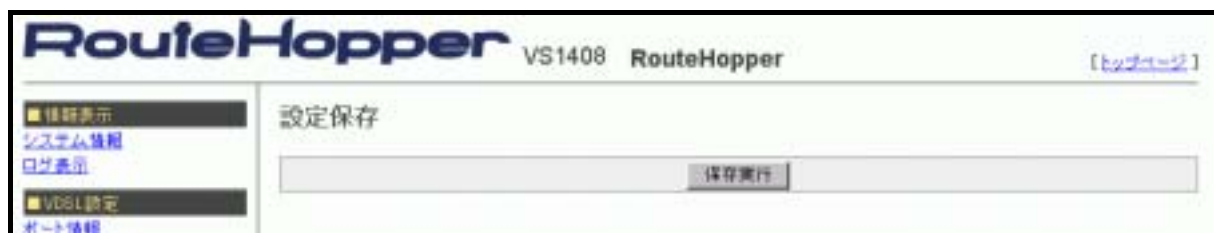


現在の設定情報

現在の設定情報を一括表示します。

表示されている設定情報は、そのままコマンドシェル(CLI)で実行出来るコマンド形式になっています。

システム管理－設定の保存ページ

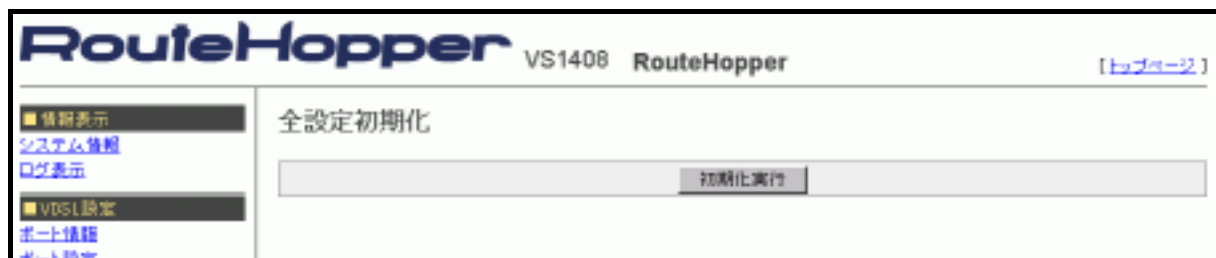


設定保存

設定の保存を行います。

「保存実行」ボタンを押すことで設定が保存されます。設定を保存する事で電源断後も設定が失われる事はありません。

システム管理－全設定の初期化ページ



全設定初期化

設定の初期化を行います。

「初期化実行」ボタンを押すことで保存されている設定内容が削除され工場出荷直後の状態に戻ります。

再起動を行う事で工場出荷直後の設定状態となります。

システム管理－再起動ページ



システムの再起動

再起動を行います。

「再起動」ボタンを押すことで再起動を行います。再起動が完了するまで数十秒程度の時間がかかります。「再起動」ボタンを押した後、画面に表示される「トップページに戻る」リンクをクリックする事で再起動完了後に再接続をする事が出来ませんが、IP アドレスの変更または DHCP のアドレス取得により再起動前とは違う IP アドレスとなった場合は再接続が出来ません。その場合は、新しい IP アドレスで正しい URL を入力して接続してください。

システム管理－ファームウェアの更新ページ



アップグレードファイル URL

バージョンアップ用のファームウェアファイルの場所を指定します。
ファームウェアが置いてあるサーバアドレスとファイル名を指定し「ダウンロード」ボタンを押します。
ファイルの取得が完了した場合は以下のような表示になります。



ダウンロード時間

ファームウェアの取得が完了した時刻を表示します。

詳細情報

取得したファームウェアのバージョン等の情報を表示します。
「アップグレード」ボタンを押すことで取得したファームウェアによるアップグレードが実行されます。
アップグレード完了後は自動的に再起動されます。保存していない設定は失われますのでご注意ください。

7. OpenSSL ライセンスについて

```
/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
 * All rights reserved.
 *
 * This package is an SSL implementation written
 * by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
 * The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
 *
 * This library is free for commercial and non-commercial use as long as
 * the following conditions are aheared to. The following conditions
 * apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
 * lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
 * included with this distribution is covered by the same copyright terms
 * except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
 *
 * Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
 * the code are not to be removed.
 * If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
 * as the author of the parts of the library used.
 * This can be in the form of a textual message at program startup or
 * in documentation (online or textual) provided with the package.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the copyright
 * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 * notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 * documentation and/or other materials provided with the distribution.
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
 * must display the following acknowledgement:
 * "This product includes cryptographic software written by
 * Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
 * The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library
 * being used are not cryptographic related :-).
 * 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
 * the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
 * "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS" AND
 * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
 * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
 * ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
 * FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
 * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
 * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
 * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
 * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
 * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
 * SUCH DAMAGE.
 *
 * The licence and distribution terms for any publically available version or
 * derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
 * copied and put under another distribution licence
 * [including the GNU Public Licence.]
 */
```

8. 製品に関するサポートのご案内

製品に関するお問い合わせやテクニカルサポートについては、下記の弊社サポートページをご覧ください。

<http://www.routrek.co.jp/support/>

また、製品に関する最新情報やマニュアルも上記ページからダウンロードすることができますのでご参照ください。

Copyright©2006 株式会社 ルートレック・ネットワークス All rights reserved.
このマニュアルの著作権は、株式会社 ルートレック・ネットワークスが所有しています。
このマニュアルの一部または全部を無断で使用、あるいは複製することはできません。
このマニュアルの内容は、予告なく変更されることがあります。

商標について
ルートレック・ネットワークスのロゴおよび RouteMagic は、株式会社 ルートレック・ネットワークスの登録商標です。
本書に記載されている製品名等の固有名詞は、各社の商標または登録商標です。